



落合功 著

(青山学院大学経済学部教授)

価格 本体900円+税

判型A5並製 94頁

ISBN978-4-86369-531-3

信用組合の ルーツをたどる

信用組合の理念、思想の源流をヨーロッパと日本にたどり、
わかりやすい文章で丁寧に解説した信用組合史の入門書。



第1章	信用組合の精神
第2章	危機の中での相互扶助
第3章	信用組合論の登場
第4章	産業組合運動の展開
第5章	中小企業者や労働者のための信用組合 佐久間式信用組合／市街地信用組合の成立／賀川豊彦が創った信用組合
第6章	混乱と萌芽の時代
第7章	協同組合精神と信用購買利用組合
第8章	中小企業等協同組合法の成立
第9章	中小企業等協同組合法制定後の金融事情と信用金庫の成立
第10章	合併と分離、そして統合
第11章	決断 大正時代から続く職域の歴史—福岡県庁信用組合の事例／同業者のための金融機関設立の歴史—東浴信用組合の事例／中小企業等協同組合法の認可第1号—新潟縣信用組合の事例／なぜ信用金庫にならなかったのか？—新潟縣信用組合、山形中央信用組合の場合
第12章	すそ野を支える信用組合 職域信用組合が必要とされた背景—警察官のための信用組合／業域信用組合が必要とされた背景—医業のための信用組合／組合には金庫にはない良さがある—札幌中央信用組合の事例／復興の礎として—広島市信用組合の事例／離島の日本復帰を支えた信用組合—奄美信用組合の事例

●現代日本社会のすそ野を支える信用組合のありようを、職域組合、業域組合などさまざまな具体的事例をもとに紹介。

●全国信用組合中央協会の機関誌『しんくみ』に連載された、信用組合の精神、なりたちと発展を詳細に記した信用組合史。



ご購入はお近くの書店、もしくはFAX 03-5259-6070へ

信用組合の ルーツをたどる 落合功 著	判型A5判 94頁 並製	冊
	定価 900円+税 ISBN 978-4-86369-531-3	

番線印(書店用)

すいれん舎 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-14-3-601
TEL 03-5259-6060 e-mail:masato@suirensa.jp